

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 昭和電線ホールディングス株式会社

コード番号 5805 URL <http://www.swcc.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 相原 雅憲

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部IR・広報グループ長 (氏名) 菅井 幹夫

TEL 03-5404-6951

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	41,912	6.8	562	—	395	—	255	—
25年3月期第1四半期	39,232	△6.5	△570	—	△1,253	—	△1,126	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 1,331百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △1,230百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	0.83	—
25年3月期第1四半期	△3.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	138,355	36,681	26.3
25年3月期	136,890	35,349	25.6

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 36,334 百万円 25年3月期 35,057 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	82,000	3.5	800	—	300	—	200	—	0.65
通期	168,000	△1.1	3,000	166.4	2,000	—	1,500	—	4.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	308,268,611株	25年3月期	308,268,611株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	108,800株	25年3月期	107,492株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	308,160,299株	25年3月期1Q	308,166,380株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による財政・金融政策などに対する期待感から円高の是正や株価の上昇が進行し、一部には持ち直しの動きが見られました。しかしながら、中国をはじめとする新興国経済の減速懸念や材料価格の値上がりなど、先行きは不透明な状況で推移いたしました。電線業界においては、建設・電販向けの需要は堅調に推移いたしました。電力をはじめとするその他の分野の需要は総じて低迷し、厳しい状況が続きました。

このような環境下、当社グループの第1四半期連結累計期間の売上高は419億12百万円（前年同四半期対比6.8%増）となりました。損益面では、前年度末に講じた事業構造改革により固定費の削減が図れたことから、営業利益は5億62百万円（前年同四半期は5億70百万円の営業損失）、経常利益は3億95百万円（前年同四半期は12億53百万円の経常損失）、四半期純利益は2億55百万円（前年同四半期は11億26百万円の四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(電線線材事業)

建設・電販向けの需要が堅調に推移したことから、売上高は197億10百万円（前年同四半期対比22.5%増）、営業利益は5億13百万円（前年同四半期対比9.3%減）となりました。

(電力システム事業)

国内電力向けの出荷は低調でしたが、固定費の削減が図れたことから、売上高は66億40百万円（前年同四半期対比23.5%減）、営業損失は30百万円（前年同四半期は6億88百万円の営業損失）となりました。

(巻線事業)

細物平角巻線は回復の基調で推移いたしました。依然、重電向け等の出荷は低調に推移したことから、売上高は50億41百万円（前年同四半期対比2.9%減）、営業利益は19百万円（前年同四半期対比118.2%増）となりました。

(コミュニケーションシステム事業)

国内通信ケーブルの需要低迷が長引いていることから、売上高は43億88百万円（前年同四半期対比0.0%増）、営業損失は2億61百万円（前年同四半期は4億27百万円の営業損失）となりました。

(デバイス事業)

建築用免震装置の出荷が好調だったことに加え、複写機用ローラ等の精密デバイスも海外での生産が堅調に推移したことから、売上高は56億8百万円（前年同四半期対比28.7%増）、営業利益は3億86百万円（前年同四半期対比305.6%増）となりました。

(その他)

売上高は5億22百万円（前年同四半期対比0.4%増）、営業損失は98百万円（前年同四半期は1億34百万円の営業損失）となりました。

注. 上記、セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含めておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は1,383億55百万円（前連結会計年度末総資産1,368億90百万円）で、主に現金及び預金が減少し、たな卸資産、投資有価証券が増加したため、前連結会計年度末より14億64百万円増加しております。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は1,016億74百万円（前連結会計年度末負債合計1,015億40百万円）で、主に短期借入金が増加し、支払手形及び買掛金、事業構造改善引当金、長期借入金が減少したため、前連結会計年度末より1億33百万円増加しております。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は366億81百万円（前連結会計年度末純資産353億49百万円）で、前連結会計年度末より13億31百万円増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、概ね当初予想の範囲内であることから、平成26年3月期の連結業績予想については、平成25年5月28日に公表した予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,683	7,026
受取手形及び売掛金	47,053	46,330
たな卸資産	19,247	21,047
その他	4,325	5,334
貸倒引当金	△242	△277
流動資産合計	79,067	79,460
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,325	10,259
機械装置及び運搬具（純額）	5,836	5,763
土地	24,009	24,009
その他（純額）	1,605	2,062
有形固定資産合計	41,777	42,095
無形固定資産	2,101	2,032
投資その他の資産		
投資有価証券	7,628	8,545
その他	6,706	6,574
貸倒引当金	△390	△353
投資その他の資産合計	13,945	14,767
固定資産合計	57,823	58,894
資産合計	136,890	138,355
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,631	21,746
短期借入金	42,922	47,380
未払法人税等	329	108
工事損失引当金	30	21
事業構造改善引当金	1,187	337
その他	10,944	10,523
流動負債合計	79,046	80,116
固定負債		
長期借入金	13,773	12,793
退職給付引当金	649	553
役員退職慰労引当金	112	100
その他	7,959	8,109
固定負債合計	22,494	21,557
負債合計	101,540	101,674

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,221	24,221
資本剰余金	11,035	6,428
利益剰余金	△6,077	△1,215
自己株式	△13	△13
株主資本合計	29,166	29,421
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	780	1,240
繰延ヘッジ損益	23	4
土地再評価差額金	5,031	5,031
為替換算調整勘定	55	636
その他の包括利益累計額合計	5,890	6,912
少数株主持分	292	347
純資産合計	35,349	36,681
負債純資産合計	136,890	138,355

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	39,232	41,912
売上原価	35,407	37,080
売上総利益	3,824	4,832
販売費及び一般管理費	4,394	4,269
営業利益又は営業損失(△)	△570	562
営業外収益		
受取利息	4	7
受取配当金	37	59
為替差益	—	112
その他	41	90
営業外収益合計	82	269
営業外費用		
支払利息	257	259
持分法による投資損失	33	62
為替差損	283	—
その他	190	114
営業外費用合計	765	436
経常利益又は経常損失(△)	△1,253	395
特別利益		
受取補償金	105	—
固定資産売却益	29	—
特別利益合計	134	—
特別損失		
事業構造改善費用	—	17
減損損失	62	—
投資有価証券評価損	35	—
その他	12	—
特別損失合計	110	17
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,228	377
法人税等	55	105
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,284	271
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△158	16
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,126	255

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△1,284	271
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△329	460
繰延ヘッジ損益	—	△19
為替換算調整勘定	262	342
持分法適用会社に対する持分相当額	121	277
その他の包括利益合計	54	1,060
四半期包括利益	△1,230	1,331
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,116	1,276
少数株主に係る四半期包括利益	△114	54

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

平成25年6月26日開催の当社第117期定時株主総会における決議に基づき、資本準備金4,095百万円を減少し、その他資本剰余金に振替えるとともに、その他資本剰余金4,606百万円を繰越利益剰余金に振替え、欠損の補填を行っております。

この結果、当第1四半期連結会計期間において資本剰余金が4,606百万円減少し、利益剰余金が4,606百万円増加しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					その他 (注)1 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (注)2 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 (百万円)
	電線線材 事業 (百万円)	電力システ ム事業 (百万円)	巻線事業 (百万円)	コミュニケ ーションシ ステム事業 (百万円)	デバイス 事業 (百万円)				
売上高									
外部顧客への 売上高	16,088	8,684	5,193	4,386	4,357	520	39,232	—	39,232
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	4,580	264	247	399	91	2,472	8,055	△8,055	—
計	20,668	8,949	5,441	4,786	4,449	2,993	47,287	△8,055	39,232
セグメント利 益又は損失 (△)	566	△688	8	△427	95	△134	△580	9	△570

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流業、事務管理業務、超電導線事業等の製造販売等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額9百万円には、未実現利益の調整額4百万円を含んでおります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「デバイス事業」において、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期累計期間においては62百万円であります。

(海外売上高)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

	アジア	その他	計
I 海外売上高(百万円)	4,288	65	4,353
II 連結売上高(百万円)	—	—	39,232
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	10.9	0.2	11.1

(注)1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国または地域

アジア……………シンガポール、カタール、中国等

3 海外売上高は、当社および連結子会社の日本以外の国または地域における売上高であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					その他 (注)1 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (注)2 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 (百万円)
	電線線材 事業 (百万円)	電力システ ム事業 (百万円)	巻線事業 (百万円)	コミュニケ ーションシ ステム事業 (百万円)	デバイス 事業 (百万円)				
売上高									
外部顧客へ の売上高	19,710	6,640	5,041	4,388	5,608	522	41,912	—	41,912
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	5,142	97	162	185	36	2,434	8,057	△8,057	—
計	24,852	6,737	5,204	4,573	5,644	2,957	49,970	△8,057	41,912
セグメント利 益又は損失 (△)	513	△30	19	△261	386	△98	530	32	562

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流業、事務管理業務、超電導線事業等の製造販売等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額32百万円には、未実現利益の調整額31百万円を含んでおります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(海外売上高)

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

	アジア	その他	計
I 海外売上高(百万円)	5,012	77	5,089
II 連結売上高(百万円)	—	—	41,912
III 連結売上高に占める海外売上高 の割合(%)	12.0	0.2	12.1

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国または地域
アジア……シンガポール、中国、タイ等

3 海外売上高は、当社および連結子会社の日本以外の国または地域における売上高であります。